報道関係者　各位

JA CERESA KAWASAKI News Release

令和8年11月13日

寒い冬に華やぎを
市内産シクラメンの出荷開始

冬の始まりとともに、今年も市内産シクラメンの出荷が始まります。生産者による直売の他、JAセレサ川崎の大型農産物直売所「セレサモス」麻生店と宮前店にも、ピンクや赤、白など色とりどりのシクラメンが並び、冬の贈り物として人気を集めています。このたび生産者に協力を依頼し、生産現場をご案内いただける機会を設けましたので、ぜひ取材いただき、市内産シクラメンをご紹介いただければ幸いです。

市内産シクラメンについて

市内産シクラメンは、毎年11～12月ごろにかけて出荷されています。株の大きさにより大輪系や中輪系、小輪系に分けられる他、寒さに強く庭植えできるガーデンシクラメンも人気です。

市内では主に中原区や多摩区で生産が盛んとなっており、さまざまな色や花形のシクラメンが生産されています。令和4年度の川崎市農業実態調査によると、市内の作付け面積は延べ約10㌃、収穫量は約8300本となっています。

田中　修さんについて

今回ご協力いただく田中修さんは、約40㌃のハウスと露地でシクラメンやパンジー、ビオラなど年間10品目ほどの花きを生産しています。数々の展覧会や品評会で農林水産大臣賞などを受賞するほど高い技術を持ち、市内でも有数の花き生産者として活躍しています。

主力のシクラメンは、年間で30品種3000株を栽培。毎年12月に種をまき、約1年かけて栽培しています。夏頃にラグトレーからポットや鉢に植え替えた後、販売が始まる11月まで株の中心に光がよく当たるように「葉組み」を行うなど、丹精して育てています。

利用者がハウス内で花を選ぶ観光農園方式が人気で、毎年多くのリピーターが訪れます。シクラメンは毎年11月20日ごろから直売し、セレサモス宮前店と麻生店にも出荷しています。



【取材ご案内】

日　　時：令和8年11月26日(木) 午前10時開始

取 材 先：田中　修（たなか　おさむ）さん（62）

集合場所：川崎市中原区下小田中1-23-27（自宅）

地図はこちら

※JR南武線武蔵中原駅より徒歩10分
※駐車場あり。お車の場合は、申し込みの際にご報告をお願いいたします。

内　　容：1時間ほどお時間をいただき、選別、出荷準備の様子を撮影させていただく他、栽培における工夫や苦労、やりがいなどの質問・取材にお答えいただきます。
当日は、JAセレサ川崎経営企画部広報課の職員も同行します。



田中　修さん

【お問い合わせ・取材のご連絡について】
※取材をご希望される場合は、事前にJAセレサ川崎広報課までご連絡願います。
◆お問い合わせ先　JAセレサ川崎　本店経営企画部広報課　TEL 044-877-2964　担当：岩田・別府